

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
東区役所健康ふれあいひろば等活用事業(ひがしふおと展)		東区役所自治推進課			
事業目的	事業効果	活動指標	—	R3	R4
<ul style="list-style-type: none"> ・区内の魅力を共有する。 ・地元の特性の再発見並びに地元意識の高揚を図る。 ・地域愛の醸成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の情報共有 ・区民等との協働による東区の魅力の発見・発信 ・一部参画への誘導 ・区民等による情報発信の誘発 	来場者及び参加者アンケートによる満足度の測定	—	81%	91%
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	区の魅力を発信する新たなイベントを実施することにより、地元の特性の再発見並びに地元意識の高揚に繋がる事業であった。	◎	東区在住・在勤・在学を対象に写真募集。写真を通じ区民自らが区の魅力を発信することで、参加型の啓発事業となった。区民等の参加意識の向上と東区の魅力の発見・発信に寄与したといえる。	◎	春夏秋冬で季節を感じることができる展示方法や、展示期間には、来場者にお気に入りの作品を選んでいただく投票形式とすることで、インパクトのある事業であった。
④効率性		◎	写真現物だけでなく、電子申請システムやメールでの受付も行うことで、短期間で幅広い年齢層の多くの方から応募があった。		
⑤自立発展性		総合評価			
△	区民から事業について提案をいただき、地元の特性の再発見並びに地元意識の高揚を促進しているが、より区民に参画していただける事業へと発展させていく必要がある。	○	幅広い世代の方に応募及び来場いただき、作品の投票にも参加していただくことができた。また、東区の様々な景色やスポット等、魅力を発見・発信しながら楽しんでいただける事業であった。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	昨年度に引き続き、応募者全員の作品を展示することができたが、今後応募者の増加や授乳スペースの設置による展示スペースの減少により、展示作品の選定や展示方法の変更が必要となる可能性がある。				